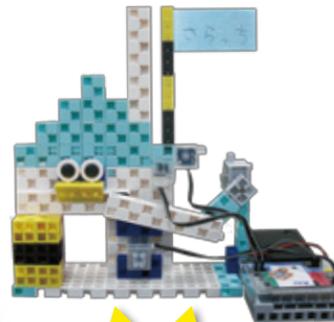


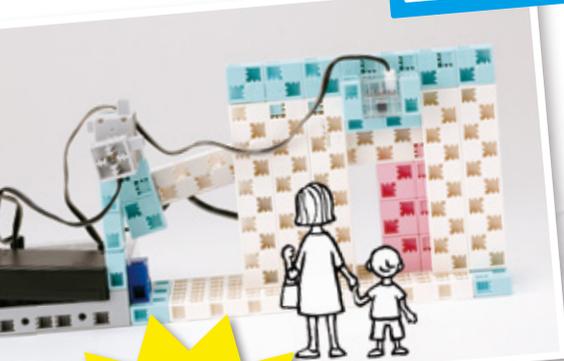
はじめてでもOK!

体験しよう プログラミングの 世界!!

自  動



組み立て方や
LEDで
オリジナル
作品に!



かんたんで、
だれでも
プログラムが
作れる!



8月2日(木) 20名
8月3日(金) 20名

計40名募集!

参加費
無料

 ショールーム・
工場見学

×

 プログラミング
講座

作って動かす

「自動ドア」プログラミング体験教室

ブロックで「自動ドア」を作り、プログラミングして動かそう。

テクニックを伝授してくれるのは、 のマークでおなじみの「ナブテスコ」の技術者たちだ。

ショールームでいろいろな自動ドアを見学するので、しくみがばっちり研究できるよ!

真夏の暑い1日を、楽しいクールな1日にしよう。

- 受付開始時刻 / 9:15 (体験教室開始 9:30、終了予定 16:00)
- 実施開場 / ナブテスコ甲南工場 (神戸市東灘区魚崎浜町35) 現地集合・現地解散
- 申し込みめきり / ※現在先着で募集しております
- 申し込み方法 / 電話 ▶TEL:03-6431-1329 (土日祝をのぞく9:00~17:00)

WEB ▶<http://robot.gakken.jp/> より申し込みフォームへ ※詳しくは裏面を確認してください。

- 問い合わせ先 03-6431-1329 学研ものしくみ研究室

ナブテスコ
甲南工場近隣校
4~6年生
限定!!

作って動かす「自動ドア」プログラミング体験教室



スケジュール

サーッと開く自動ドア。自動ドアには、おしボタン式のものや、手を近づければ開くもの、音が鳴るものなどいろいろあるよ。オリジナルの自動ドアを作って「しくみ」を学んだり、うまくまとめて自由研究に役立てたりしよう。

※保護者(お子さま1人につき保護者1名)の見学もできます。

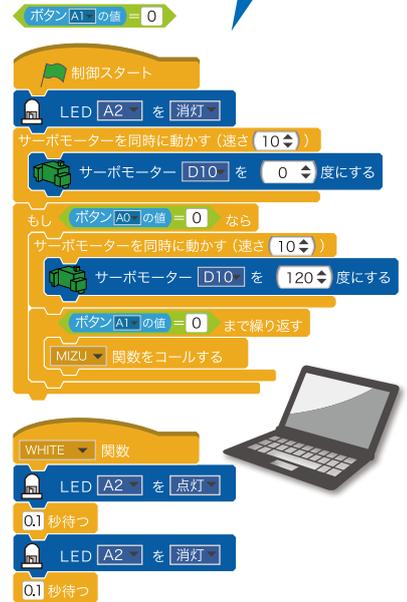


まずはショールームと工場を見学し、どんな自動ドアがあるのかを知り、センサーなどのしくみを学びます。そのあとの午前中はプログラミングのきそを学び、かんたんな自動ドアを作ります。午後の講座はオリジナルの自動ドア作りです。アイデアを練って、より便利なものに作りかえたり、LEDや効果音で演出したりします。最後は、発表会とさつえい会です。

プログラミング未経験者も大かんげい!

「プログラミング」っていうと、むずかしそうなイメージがあるかもしれないけど、この講座のプログラムは、マウスを動かすだけでほとんど組みあがる。センサーやモーターも、数字を入力するだけでコントロールできるよ。

プログラムのイメージです



しくみを知って、プログラミング

普段よく目にする自動ドアはもちろん、めずらしいものや、最新のものまで見られるよ。自由研究にも役立ててね。



※写真は昨年当工場で行った、「総務省若年層に対するプログラミング教育の普及推進プロジェクト」の様子です。

- 定員:各回20名 ■ 先着にて募集しております
- 参加可否のお知らせ:参加いただける方に電話またはメールにてご連絡いたします
- 会場:ナブテスコ甲南工場 現地集合・解散 〒658-0024 兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町35

◆確認事項

- ◆ 車での来場はご遠慮ください。自転車での来場は可能です。
- ◆ 昼食と飲み物は、ご持参ください。
- ◆ 見学は参加者1名に対し保護者1名とさせていただきます。
- ◆ 講座で使用したロボット教材はお持ち帰りできません。
- ◆ お子さまと保護者さまにアンケートのご協力をお願いします。
- ◆ 講座修了時に撮影会を行います。画像などは、後日、用意されたウェブサイトよりダウンロードできます。
- ◆ 講座の様子を撮影します。メディア・広報宣伝物などにすることがありますので、ご了承ください。
- ◆ 定員に満たない場合は他学年の児童が参加する場合があります。
- ◆ 個人情報は、本イベントのみに使用いたします。

持ち物

- 筆記用具 ● 昼食 ● 飲み物
- カメラ(自分の作品の記録を残したい人)

申し込み方法

「自動ドア」プログラミング体験教室は、お電話またはウェブからお申し込みできます。

【申し込み必要事項】

- 希望日 ■ 学校名・学年・組(小学4~6年生対象) ■ お子さまのお名前 ■ 保護者のお名前
- 電話番号 ■ 保護者の見学希望の有無 ■ 上記確認事項の同意

●お電話の場合▶TEL03-6431-1329 学研 もののしくみ研究室 (土日祝をのぞく9:00~17:00)

●WEBの場合▶<http://robot.gakken.jp/> より 申し込みフォームへ WEB上のイベント申し込みボタンより登録してください

※個人情報は本イベントのみに使用し、その管理は株式会社 学研エデュケーションル およびナブテスコ株式会社が責任を持って行います。

